「デジタルアーカイブ学会誌」　投稿原稿テンプレート

記事種別　□フルペーパー・研究論文　□フルペーパー・実践論文

　　　　　□ショートペーパー・研究論文　□ショートペーパー・実践論文

和文標記

|  |  |
| --- | --- |
| 標題 |  |
| 抄　録：（２５０～３００字） |
| 和文キーワード：（３～７個） |

英文標記

|  |  |
| --- | --- |
| Title |  |
| Abstract :(80 – 120 Words)  |
| Keywords : (3 – 7 Words)  |
|  |

「デジタルアーカイブ学会誌」　原稿テンプレート

**執筆上のご注意**

1. 全般

(1) 論文掲載料

投稿論文が会誌に掲載された場合は、執筆者は以下の掲載料を支払っていただきます。

|  |  |
| --- | --- |
| フルペーパー | ショートペーパー |
| 6ページまで (約9000字) | 10,000円 | 3ページまで (約5000字) | 10,000円 |
| 7ページ | 15,000円 | 4ページ | 15,000円 |
| 8ページ | 20,000円 |  |  |
| 以後追加1ページ毎 | +10,000円 |  |  |

(カラー・ページについては別途相談)

(2) このテンプレートは全角40字/行 x 35行で設定されています。したがって1400字/ページとなります。

フルペーパーは約9000字ですので、このテンプレートで6.4ページ、ショートペーパーは5000字ですので3.6ページとなります。ページ数には抄録、図表、参考文献も含まれます。図表は1点約300文字換算となります。

(3) 図表はできるだけこの原稿中に挿入してください。解像度は査読審査に十分な程度のものとしてください。採録が決定して学会誌に掲載される際には、今度はできるだけ解像度の高いデータを送付してください。画像・写真は学会誌掲載時にはモノクロとなりますので、グラフなど作成時にはご注意ください。ただしJ-STAGEに掲載される際はカラーとなります。学会誌でカラー印刷を希望される場合はご相談ください (有料となります)。

(4) 原稿中に挿入が困難な大きな図表は、別ファイルとして投稿してください。これらは学会誌には印刷されませんが、J-STAGE Dataに別途無料で公開することができます。また、データセット、プログラム、動画などもJ-STAGE Dataで公開できます。ただし、投稿に当たっては、審査に必要なものだけを投稿してください。

(5) 註と参考文献は分けてください。また、同じ参考文献を本文中の複数の場所で参照する場合は、同一の参考文献番号を使用してください。

(6) 科研費その他の資金、または施設等の援助を受けた場合は、「おわりに」、または「謝辞」の章で記述してください。

(7) 投稿論文が著者の口頭発表などをベースにしている場合は、「はじめに」、または「おわりに」でそのことを明記し、参考文献に記載してください。

2. 公開時のライセンスについて

本学会誌では、論文はCC BY 4.0 (帰属) で公開いたします。画像・写真などの著作権が他者にある場合はご注意ください。

以上

1. はじめに

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６６７８９０

2. 章見出し

2. 1 節見出し

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６６７８９０１２３４５６７８９０

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６６７８９０１２３４５６７８９０

3. 章見出し

3. 1 節見出し

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０

3. 1. 1 項見出し

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６６７８９０１２３４５６７８９０

(1) 細目見出し

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６６７８９０１２３４５６７８９０

n. おわりに

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６６７８９０１２３４５６７８９０

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６６７８９０１２３４５６７８９０

[註　参考文献の記入について]

註

※註は脚注とせず、また参考文献と分離して、ここに [註1]、[註2] のように列挙してください。本文中に[註1]、[註2] のように番号を挿入してください。註の中に参考がある場合は、それを参考文献として記載してください。

参考文献

※参考文献は以下に [1], [2] のように記載し、本文中に対応する番号を [1], [2] のように挿入してください。上付きにする必要はありません。ibid, idem, "同上" などは使わないでください。参考文献の中に書誌以外のテキストを記載する必要がある場合は、註として記載し、そこから参考文献を参考する形にしてください。

※参考文献はSIST02または、国際的な標準記法 (Chicago Manualなど) に準拠して作成してください。SISTでは雑誌記事の記載は，年，巻，号，ページの順番になります ([https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02\_2007/main.htm](https://warp.ndl.go.jp/info%3Andljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm))。

例：(SIST準拠の場合)

[1] 蒲生英博. 大学図書館における評価指標報告書(Version 0)の作成とその後の動向　－特に電子図書館サービス関係評価指標について―. 情報の科学と技術. 2004, vol.54, no.4, p.183-189. （和雑誌の場合）

[2] 蒲生英博. 大学図書館における評価指標報告書(Version 0)の作成とその後の動向　－特に電子図書館サービス関係評価指標について―. 情報の科学と技術. 2004, 54(4), 183-189. （和雑誌の場合、省略形）

[3] Kircz,J.G.; Bleeker, J. The use of rational databases for electronic and conventional scientific publishing. Journal of Information Science. 1987, vol.13, p.65-126.　（洋雑誌の場合）

[4] 筑波大学附属図書館. 電子図書館用計算機システム仕様書. 平成17年6月20日. http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/dl/spec\_jul.pdf (参考 2007-09-05).（参考日を必ず入れてください）

※作成後，この例は削除してご提出ください。